

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272300807		
法人名	社会福祉法人北光会		
事業所名	あずみ野グループホーム		
所在地 (電話番号)	〒038-0241 青森県南津軽郡大鰐町鱒石字浅瀬淵35-5 (電話) 0172-49-1133		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月16日	評価確定日	平成21年11月29日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 14人, 非常勤 1人, 常勤換算	14.75人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(8月 30日現在)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1		要介護2	4 名
要介護3	8 名	要介護4	4 名
要介護5	2 名	要支援2	名
年齢 平均	85.8 歳	最低	76 歳
		最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小山内医院、町立大鰐病院、黎明郷病院、さとうデンタル
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑の自然に囲まれた中に暖かな雰囲気の木造の建物が姿を現す。ホーム内には車いす置き場がさりげなく設置されたりと家庭的な環境を乱すことのないような配慮がなされている。また、間接照明の明かりや窓からの自然光が落ち着いた雰囲気を作りだしている。職員は自らすすんで外部研修を受講するなどとても意欲的である。全体的に介護度が高い方が多く入居されているが、きめ細かく入居者のアセスメントを実施し、その内容が日常のケアに反映されているため、落ち着いた対応がなされている。また、様々な事業所を併せ持つ法人としての利点を生かし、同敷地内のデイサービス栄養士による栄養バランスのとれた献立づくり、看護師の協力体制、各行事への利用者の参加など日々の生活が充実したものとなっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果については職員間で話し合いがなされている。虐待防止項目はマニュアルを作成し日常のケアへ反映させている。また、災害対策は消防団や地域住民へ協力を求める働きかけを行い、現在も継続して取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員はそれぞれ評価を行う意義を理解し、自己評価を実施し、気づきの機会となっている。その後、職員間で話し合いを行い、改善項目について検討がなされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に一度定期的で開催され、参加者は本人、家族、法人関係者、地域包括支援センター、行政担当者、地域住民で構成されている。議題は主にグループホームの活動状況報告、法人での取り組み状況となっている。本会議から食事内容を振り返り、見直しするなどサービスの質向上の機会となっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>ご家族から気軽に話しかけてくれるような雰囲気作りを行うと共に家族の立場に立ち、なるべくわかりやすい言葉を選び、話し合いを行うようにしている。また、定期的な報告の他に随時、電話連絡や面会時を通じて話し合わせ、ご家族と共に利用者支援を行っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>行政より法人で委託を受けた介護者教室に認知症に関する講義の講師として職員を派遣したり、キャラバンメイトとして認知症への理解を促進する活動をしている。また、ホームのお祭りへ地域住民の参加を促すなど地域との関わりを密にするよう努力されている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体である法人の理念を基本とし、地域密着型サービスとしての役割を良く理解され、職員間で話しあいの場を持ち、独自の理念を作りあげ、実践されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、申し送り後理念を唱和することで、利用者個々の処遇を見直し意識づけしている。また、会議等において理念に立ち止まり話しあいが行われており、具体的なケアに結びつけている。		
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の方を巻き込んだの祭りを開催したり、地域の行事に積極的に参加している。また、キャラバンメイトの活動や、認知症の講習会を開催したりなど、地域で必要とされる活動や役割を担っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員はサービス評価の意義や目的を良く理解し、全員で自己評価に取り組んでいる。また、自己評価、外部評価の結果を踏まえ、直ぐできることは実践され、検討が必要な事柄については話し合う機会を設け、前向きに努力されている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回定期的に開催され、利用者状況や活動報告等と共に、参加者からの意見や要望を受け改善したり事業に生かしている。また、会議の場がマンネリ化しないよう会議内容の見直し等を行っている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の行事に参加したり、事業所の実情やサービスの取り組みを伝えている。また、法人で町より介護予防事業を委託されており、担当者と共に職員も参加し、年間計画を立て講習会を開催している。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加したり、勉強会を開き職員の理解を深めている。対応が必要と思われる利用者がある場合は、利用者や家族に説明し、支援できる体制が整っている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は虐待について理解浸透しており、日々の生活の中で意識しながら接遇している。また、虐待行為を発見した場合の対応や連絡網が事業所内で周知されると共に、職員のストレスマネジメントを実施し、虐待のない職場環境作りを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に重要事項説明を丁寧に説明すると共に、事業所のケアに関する考えや、重度化に伴う対応可能な範囲等十分に説明し、入居されている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、家族に健康状態や生活状況、金銭出納帳を送付している。また、職員の異動に関しては、面会の都度、広報発行時にお知らせしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時、手紙等、また運営推進会議の場において、苦情や意見を言える場がある事を問いかけるようにしている。意見や、苦情があった場合は、真摯に受け止め、前向きに対処できる事業所の姿勢がある。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や退職される職員がほとんどない状況である。また、法人内の異動があった場合においても、時期を考慮したり、管理者が中心となり利用者のダメージを少なくし、職員が馴染みの関係に慣れるよう、最善の努力をされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>積極的に外部研修に参加しており、研修後は職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会がある。また、法人内で年間の研修計画があり、参加している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会へ加入し、他事業所とのネットワークがある。その他近隣にある事業所と意見交換をしたり、お互いの行事に参加し交流する機会があり、ケアに生かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>自宅訪問や、事業所を見学したり、敷地内にある通所介護を利用しグループホームに遊びに来たりしながら、馴染みの関係を構築する等、安心してサービス利用できるよう支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と同じ目線に立ち、本人の気持ちを優先させることを心がけている。また、理念にあるように利用者の出来ることを見つけ「喜び」を共有し、生活されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の重度化に伴い、コミュニケーションが難しくなっているが、家族からの情報や、日々の利用者の行動や表情から思いを把握、理解できるようにし、アプローチに努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>面会時や、日頃の関わりの中で思いや意見を聞きだしたり、どんな小さな事であってもできることを見つけ、介護計画の中に気づきを反映しながら、利用者主体の介護計画になっている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画に照らし合わせて、現地点での利用者の状況、ニーズ、サービス提供状況の見直しを随時行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の重度化に伴い、利用者のニーズに応じて体制等の見直しも視野に入れ、法人のサポートもあり、本人や家族の要望に応じ柔軟に支援できている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医となっており、受診や通院は家族と連携をとりながら、通院介助を行っている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に、重度化に伴う事業所としての考えを充分説明している。また、健康状態の変化に伴い、その都度家族と話をしながら支援につなげている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は個人情報保護法の理解に努め、秘密保持の徹底が図られている。排泄に関しては、声のトーンに注意したり、言葉がけに配慮し、目立たないよう配慮されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、利用者の重度化や変化に伴って、職員の連携を持ちながら、できる限り本人の状況を尊重し、柔軟に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員は同じ食卓で、同じメニューを食べ、和やかな雰囲気の中で楽しく食事をとられていた。また、下膳の場面では一緒に片づけたり、テーブルを拭いたり等、一日の大切な活動時間となっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的に一週間に2回のペースで入浴する事にはなっているが、本人の希望があれば時間や、入浴回数も考慮できるような体制が整っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>その人にあった活動や、趣味が活かせるよう生活歴を把握し、食事の準備や片付け、冬期間であれば、編み物や裁縫、夏期には畑作りなど季節に応じた楽しみ事を支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>同じ敷地内にある、デイサービスの催し物に参加できる機会が毎日のようにあったり、季節を感じたり、地域の行事に参加できるような外出の機会が積極的に持たれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は研修に参加したり、勉強会を開催し、身体拘束について正しく理解し、共通認識が図られている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯もあり施錠しているが、日中は鍵はかけず、センサー等も設置しない体制をとっている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間想定しての訓練、日中の合同訓練や、通報訓練も計画的に実施している。また、これから地域を巻き込んで、地域の消防団と連携をとり訓練できるよう計画している。事業所内にAEDが設置されており、救命救急研修を積極的に行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同敷地内にあるデイサービスの栄養士が、利用者の状態に応じた献立を作成している。また、食事や水分摂取量のチェックしたり、重度化に伴う咀嚼、嚥下の状態を把握しながら、本人にあった食事の提供を行っている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	事業所内で起こりうる感染症について、マニュアルを作成している。外部研修に参加したり、勉強会を開催して早期発見や予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>木造建築で、玄関を入ると木の香り、採光がふんだんに共有部分に取り入れられるようになっており、畳のスペース、団欒できるテーブルや、一人掛けや、2~3人掛けのソファが並んでおり、全体的に開放的でホッとするような、懐かしさがこみあげてくるような環境である。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が在宅にいた状況と継続できるよう、家財道具や仏壇、私物の持ち込みがあったり、また、入居してから活動した習字や、塗り絵が飾っていたり、過ごしやすく居心地の良い空間になっている。</p>		

 は、重点項目。